

2016

平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業



# こころで聴く三島由紀夫V

制作 新国立劇場

## 8月11日(木)

13:00 ~ 15:30 頃

受付開始 12時30分~

そ と ば こ ま ち

## リーディング 「卒塔婆小町」

三島由紀夫作 近代能楽集より

演出 宮田慶子 (新国立劇場演劇芸術監督)

出演 春風ひとみ 牧田哲也  
寺内淳志 坂川慶成 鈴木麻美 永澤洋  
岡崎さつき 加茂智里 草薨智文

## アフタートーク

宮田慶子 × 松本 徹 × 佐藤秀明

(三島由紀夫文学館館長) (近畿大学教授)



参加費：無料

会場  
山中湖村公民館

山梨県南都留郡山中湖村山中 448  
TEL 0555-62-4386

お問合せは、三島由紀夫文学館までお願いいたします



### お申し込み方法

個人情報につきましては、第三者への開示、提供、または目的以外の使用等は、ご本人の承諾を得た場合を除き、一切いたしません

電子メール、FAX、往復ハガキのいずれかで、

1) 住所、2) 氏名、3) 電話・FAX番号を必ず明記の上、

三島由紀夫文学館までお申し込みください。(メール・FAXは8月10日締切。往復ハガキは、8月3日必着)

8月11日 リーディング「卒塔婆小町」・アフタートーク

なお、複数名でお申し込みの場合もそれぞれの、

1) 住所、2) 氏名、3) 電話・FAX番号の明記をお願いいたします。

※ 受付は先着順。人数に余裕がある場合は当日参加も可能です ※ 未就学児童のご参加はご遠慮させていただきます

※ お申し込みには必ず返信いたしますので、4日以上(往復はがきは7日以上)経っても返信がない場合は、再度お問い合わせください。

お問合せ・お申し込み先

三島由紀夫文学館 〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野 506-296  
TEL 0555-20-2655 FAX 0555-20-2656 メール info@mishimayukio.jp  
ホームページ http://www.mishimayukio.jp

## 山中湖文学の森 三島由紀夫文学館

入館料：大人500円、高校・大学生300円、小中学生100円※10名様以上から団体料金(50円引)※三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館 両館共通チケット・開館時間：10時~16時30分(入館は16時まで)  
休館日：月曜日(祝祭日の場合はその翌日)、12月29日~1月3日、資料点検日(不定期)※4月28日~5月6日の間は月曜日も開館 主催：山中湖文学の森 三島由紀夫文学館・山中湖村教育委員会

8月11日(木)

制作 新国立劇場

そとばこまち  
リーディング「卒塔婆小町」

出演 春風ひとみ 牧田哲也  
寺内淳志 坂川慶成 鈴木麻美 永澤洋  
岡崎さつき 加茂智里 草薨智文

—あらすじ—

夜の公園でモク拾いの老婆が若い詩人に、自分は昔「小町といはれた女」で、自分を美しいと言った男は皆死んだと語る。80年前、参謀本部の深草少将と約束した100日目に鹿鳴館の舞踏会があった。当時の男女が現れ小町を賛美する。詩人は小町と踊り、「君は美しい」と告げ・・・

演出 宮田慶子

1980年、劇団青年座(文芸部)に入団。翻訳劇、近代古典、ストレートプレイ、ミュージカル、オペラ、商業演劇、小劇場と多方面にわたる作品を手がける一方、演劇教育や日本各地での演劇振興・交流に積極的に取り組んでいる。第29回紀伊國屋演劇賞個人賞(『MOTHER』)、第5回読売演劇大賞優秀演出家賞(『フユヒコ』)、98年芸術選奨文部大臣新人賞(『ディア・ライアー』)、第43回毎日芸術賞千田是也賞・第9回読売演劇大賞最優秀演出家賞(『赤シャツ』『悔しい女』『サラ』)など受賞。新国立劇場では『朱雀家の滅亡』、『負傷者16人-SIXTEEN WOUNDED-』、『るつぽ』、『ビッグマリオン』、『三文オペラ』、『海の夫人』、『パッション』、『月・こうこう 風・そうそう』等を演出。2010年9月より新国立劇場演劇芸術監督。2016年4月より新国立劇場演劇研修所長に就任。



みしまゆきお

三島由紀夫

本名 平岡公威

1925年～1970年

10代初期から小説を書き始め、たぐい稀な才能を発揮。学習院を経て、東大法学部卒業。

在学中に「花ざかりの森」を出版。大蔵省に任官するが退職し「仮面の告白」で一躍、文壇の寵児となる。

以後、小説だけに留まらず、戯曲、評論、役者など多彩な活躍を続けた。また、三島文学は、世界各国で翻訳され、世界中から愛されている。代表作は、「仮面の告白」「潮騒」「金閣寺」「サド侯爵夫人」「豊饒の海」など。

きんだいのうがくしゅう

近代能楽集

我が国の古典芸能・謡曲を大胆に現代化したシリーズ。  
時空を超えて人間の切なる願い、情念が輝きだす・・・

アフタートーク

宮田慶子 × 松本徹 × 佐藤秀明

(三島由紀夫文学館館長)

(近畿大学教授)

平成28年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業 文化庁



【開館時間】 午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

【入館料】

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	500	300	100
団体	450	250	50

\*団体は10名様以上 ※三島由紀夫文学館、徳富蘇峰館、両館共通チケット

山中湖文学の森

三島由紀夫文学館

〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村平野506-296

TEL 0555-20-2655 FAX 0555-20-2656

<http://www.mishimayukio.jp/>

【休館日】

月曜日(祝祭日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日、資料点検日(不定期)

※4月28日～5月6日の間は月曜日も開館

【交通のご案内】

路線バス ▶ 富士山駅(富士吉田)から25分、御殿場駅から40分

文学の森公園前バス停下車 徒歩5分

高速バス ▶ 中央高速バスで山中湖(旭日丘バスターミナル)下車 徒歩15分

マイカー等 ▶ 山中湖ICから国道138号線を山中湖方面へ4km